施主様用

UD105

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために

取扱説明書 自然浴生活

グランシャイン Cタイプ電動装置

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

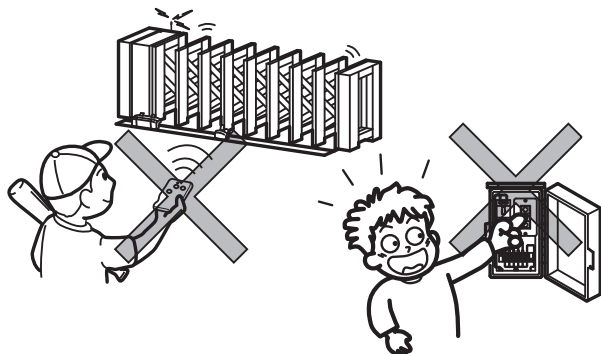
安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

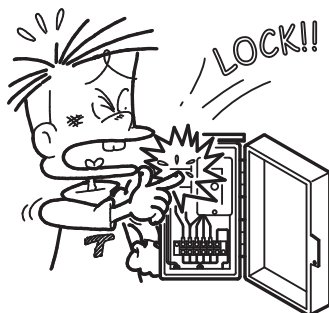
もくじ

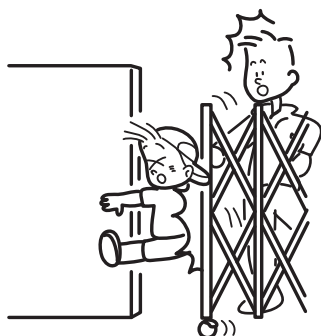
●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

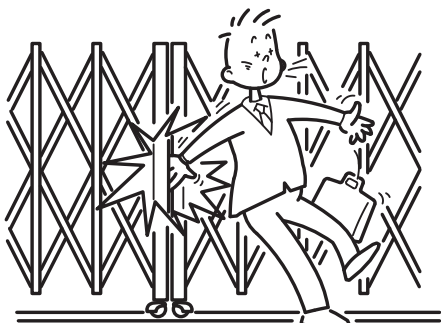
UD105_201108B

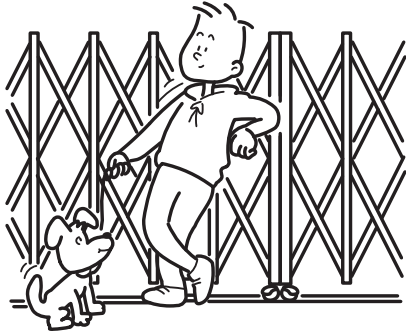
1　安全のために必ず守ってください

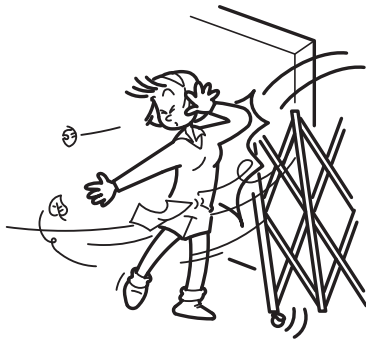
⚠警 告

●お子様には操作させないでください。
ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

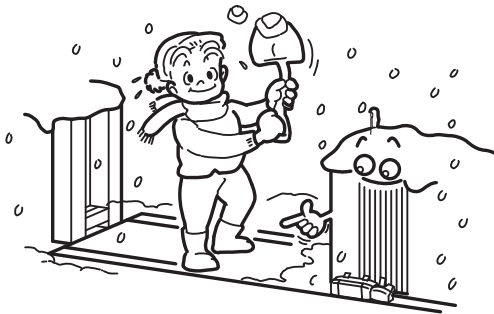
⚠警 告

●配電ボックスのフタは、操作時以外は施錠をしてください。不用意な操作によりケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

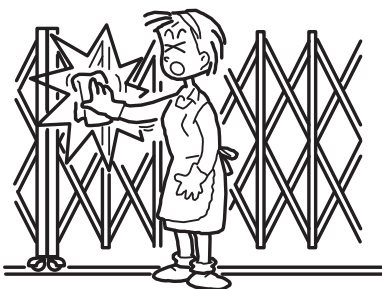
⚠警 告

●開閉操作をする前に周囲に人がいないこと、および物がないことを必ず確認してください。
特に、お子様の飛び出しなどに注意してください。
扉に挟まり、ケガをするおそれがあります。

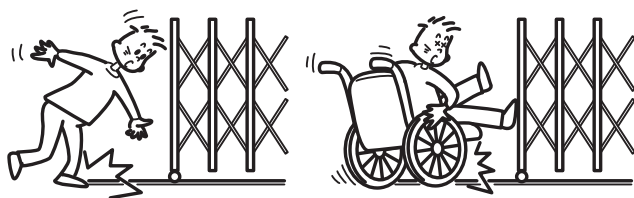
⚠警 告

●門扉を開閉するときは、門柱と扉の間や、扉と扉の間に手足や衣服をはさまないように操作してください。特に小さなお子様には注意してください。
扉に挟まり、ケガをするおそれがあります。

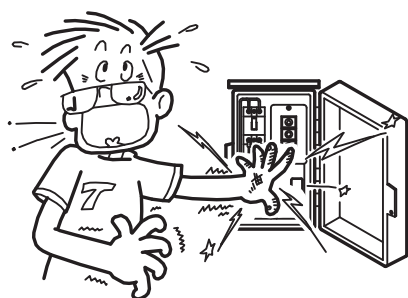
⚠注意

●門扉に乗ったり、ぶらさがったり、寄りかかったり物をのせたりしないでください。
門扉が破損、転倒してケガをするおそれがあります。

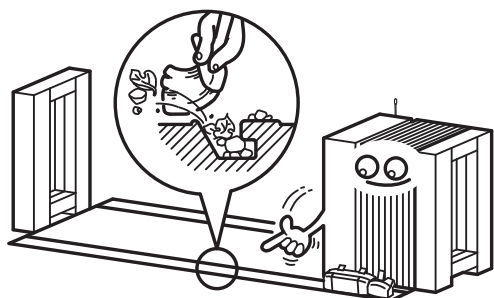
⚠注意

●風邪の強いときは全閉にして必ず、手動ロックを掛けてください。門扉を半開きの状態で放置しないでください。
●台風などの暴風時には門扉をたたみ、柱と門扉をロープなどで縛ってください。
強風で扉が開き、人に当たるおそれがあります。

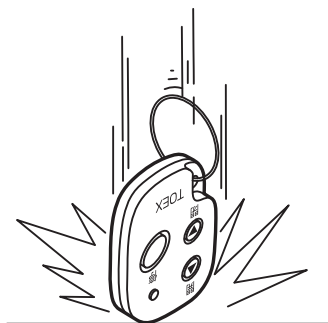
⚠注意

●積雪がある場合は、車輪がスリップして動かなくなります。除雪をしてから使用してください。
●レールや車輪まわりに凍結があると動かなくなる事があります。凍結部を溶かしてから使用してください。

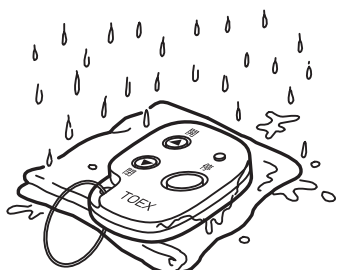
⚠注意

●お手入れで扉を拭き掃除するときには手袋等を着用してください。
パンタ部材で手指を切るおそれがあります。

⚠注 意

●レールを横切るときは、レールの段差を必ず確認してください。
●車椅子でレールを通過する場合は、補助をする人がいることを確認してください。
転倒しケガをするおそれがあります。

⚠注 意

●配電ボックスの押ボタンスイッチは濡れた手で操作しないでください。感電する危険があります。

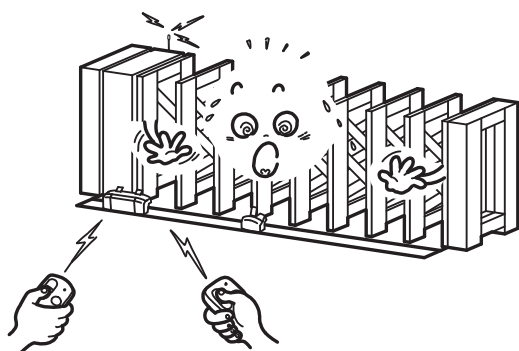
⚠注 意

●レールの溝にゴミや砂，土がたまらないように定期的に掃除をしてください。ゴミや砂，土がたまると転倒防止金具がひっかかり、扉が動かなくなる場合があります。

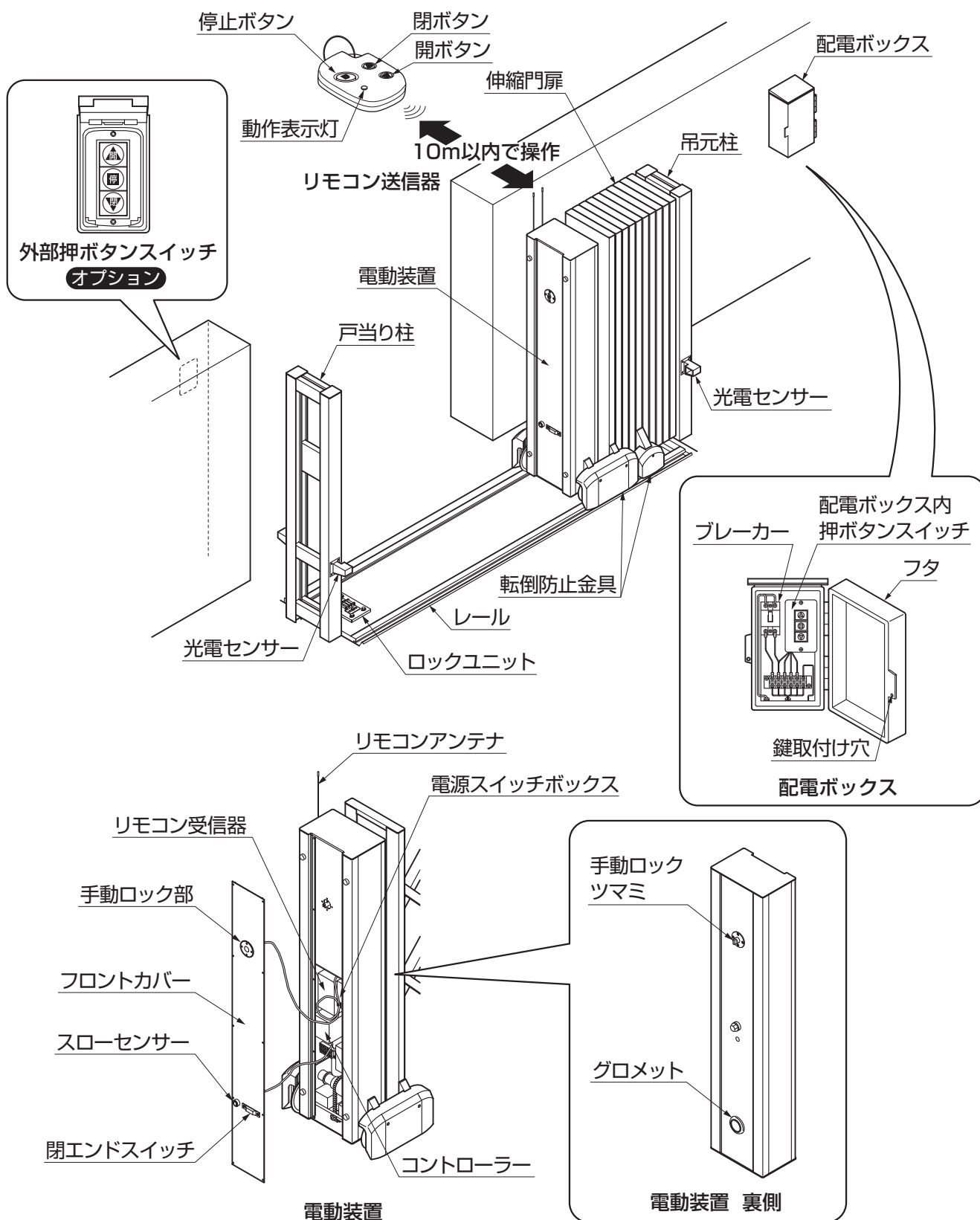
⚠注 意

●リモコン送信器を床に落としたり、衝撃を与えないでください。破損するおそれがあります。

⚠ 注 意

●リモコン送信器は生活防水構造になっていますが、雨でぬれる場所またはぬれた物の上に置かないでください。 故障するおそれがあります。

お 願 い

●リモコン送信器を温度が50℃以上になるような、夏季炎天下の車内などには放置しないでください。故障するおそれがあります。

補 足

●2台以上のリモコン送信器から同時に送信したとき、および各種無線器コードにて電話などの電波を受けたときは作動しないことがあります。

2　各部の名称

お願い

●配電ボックスは操作時以外、フタを閉めて鍵取付け穴に鍵を取付けてください。
●鍵は市販品を購入してください。

3 リモコン送信器の追加登録方法

補 足

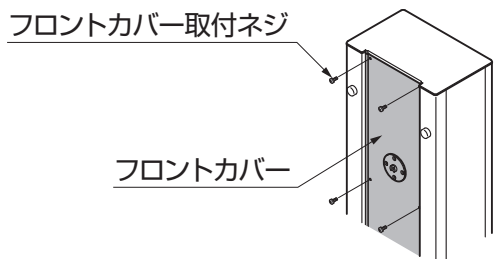
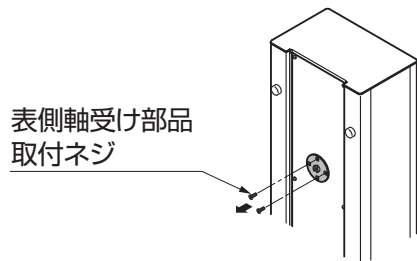
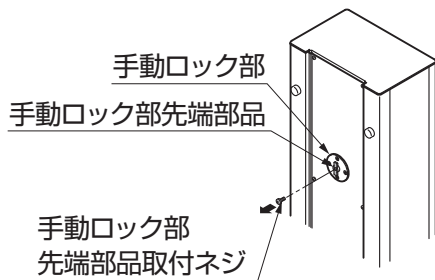
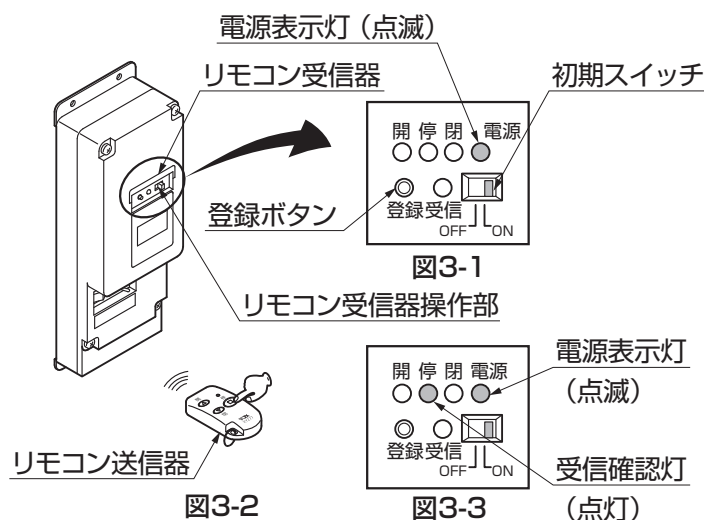
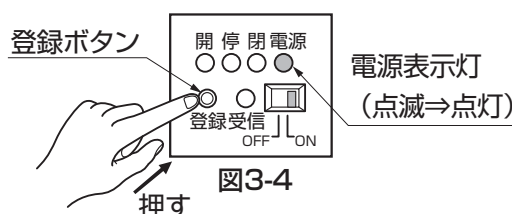
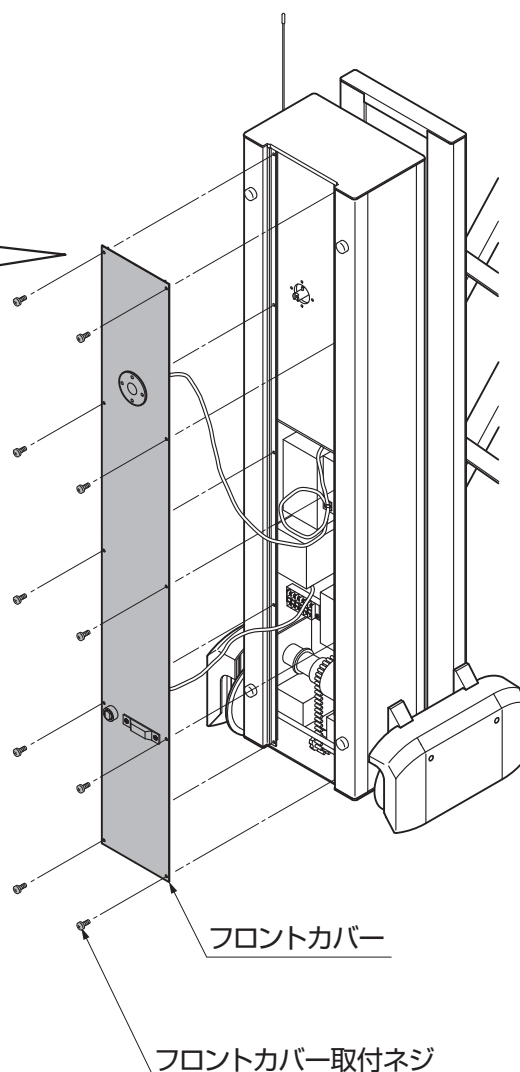
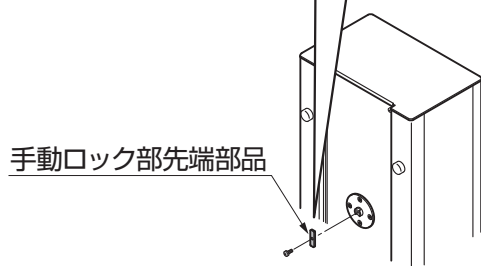
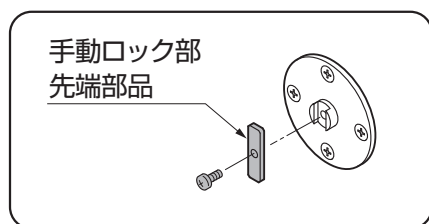
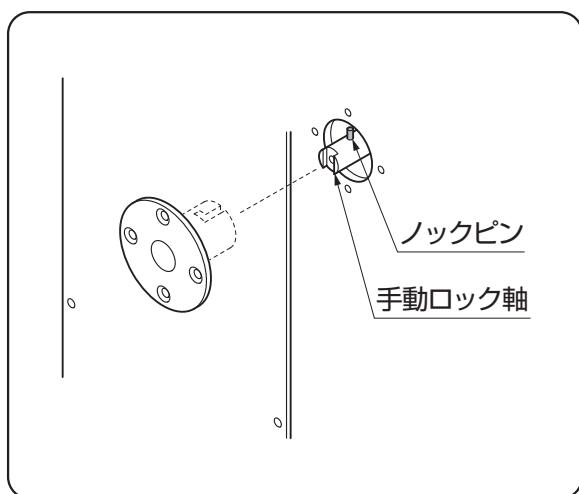
●出荷時は、リモコン送信器が1個付属しています。それ以上リモコン送信器を増やす場合はリモコン受信器への登録作業が発生します。
●リモコン受信器１台につきリモコン送信器16台まで登録可能です。

①電動装置本体のフロントカバーを外します。
a.手動ロック部先端の部品を取外してください。
b.手動ロックの表側軸受け部品ネジを取外してください。
c.フロントカバー取付ネジを外し、フロントカバーを取外してください。

図3-1
図3-2
図3-3
図3-4

②リモコン受信器の登録ボタンをボールペンの先端などで押します。（図3-1参照）
a.リモコン送信器は、最大16個が「登録可能」です。

③リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押します。（図3-2参照）
a.リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯し、送信器登録が完了します。（図3-3参照）

④リモコン送信器の登録完了後、リモコン受信器の登録ボタンを押して登録、または、電源表示が「点灯」に変わるまで待ちます。（図3-4参照）
a.電源表示が「点灯」になり受信器登録が完了します。

⑤電動装置本体のフロントカバーを取付けます。
a. 手動ロック軸にあるノックピンが上を向いていることを確認してください。
b. 手動ロック部先端部品をネジで取付けてください。

お願い

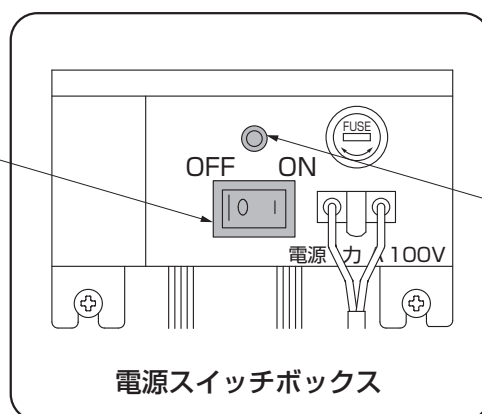
- ●電動装置からフロントカバー下部にスローセンサーの配線が接続されているので、 フロントカバーを外すときは注意してください。
- ●必ず電源表示灯が点滅している間（1分間）に登録してください。
- ●初期スイッチをOFFにすると、 リモコン送信器の登録をすべて抹消します。 登録を抹消した場合、リモコン送信器での扉操作はできません。
- ●登録スイッチは強く押しすぎないでください。 スイッチの故障の原因になります。

4 電動装置の機能説明

4 - 1 コントロール部について

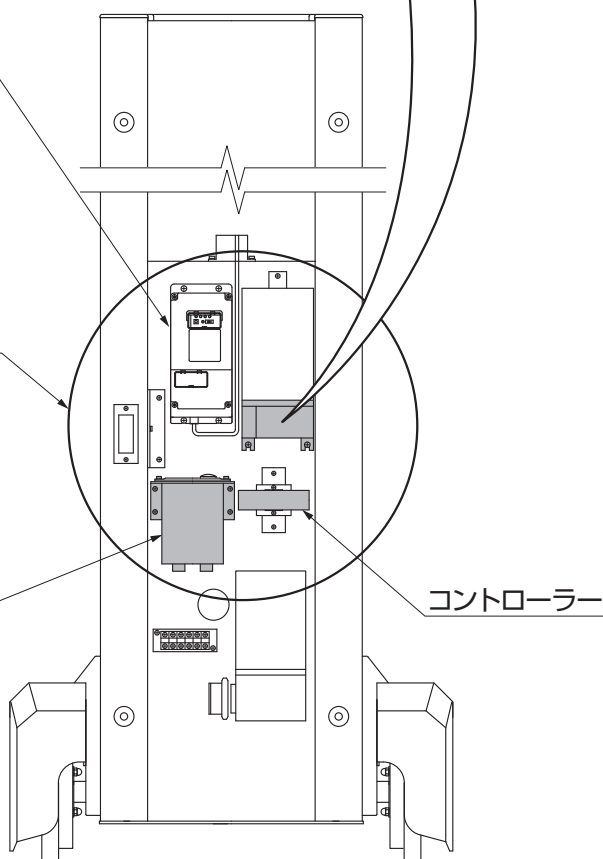
電源スイッチ
・「ON」のとき電動で扉が開閉できます。
・「OFF」のとき手動で扉が開閉できます。

OFF ON
FUSE
電源 力 100V

電源スイッチボックス

電源表示灯
・点灯時は電動扉になっていることを示します。
・消灯時は手動扉になっていることを示します。

リモコン受信器
リモコン送信器を使用する場合、またはリモコン送信器を追加する場合には、受信器に登録する必要があります。

コントロール部

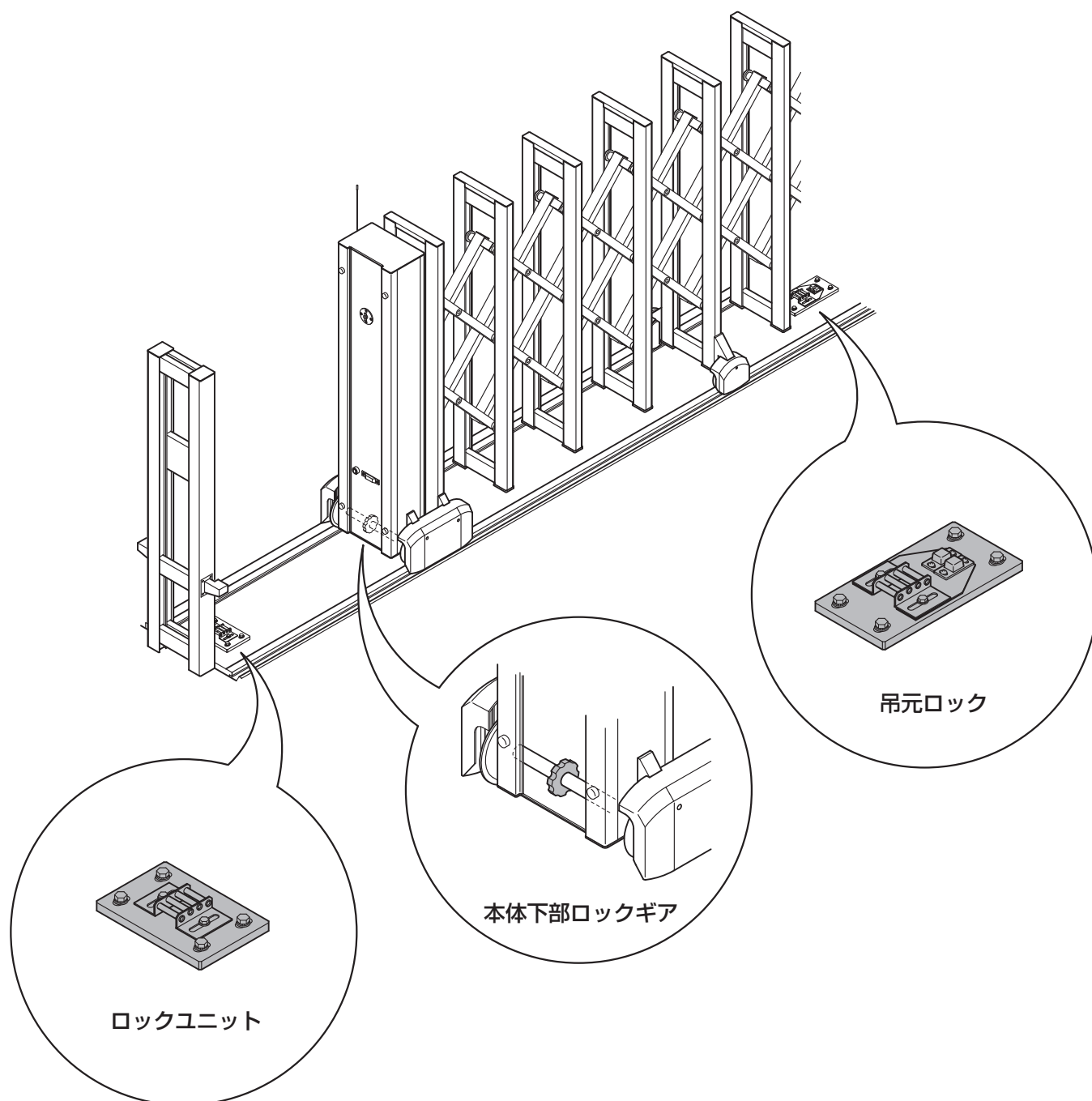
インバーター
電動で扉を開閉させるとき、インバーター制御により、スロースタート・スローストップします。

コントローラー

注 意

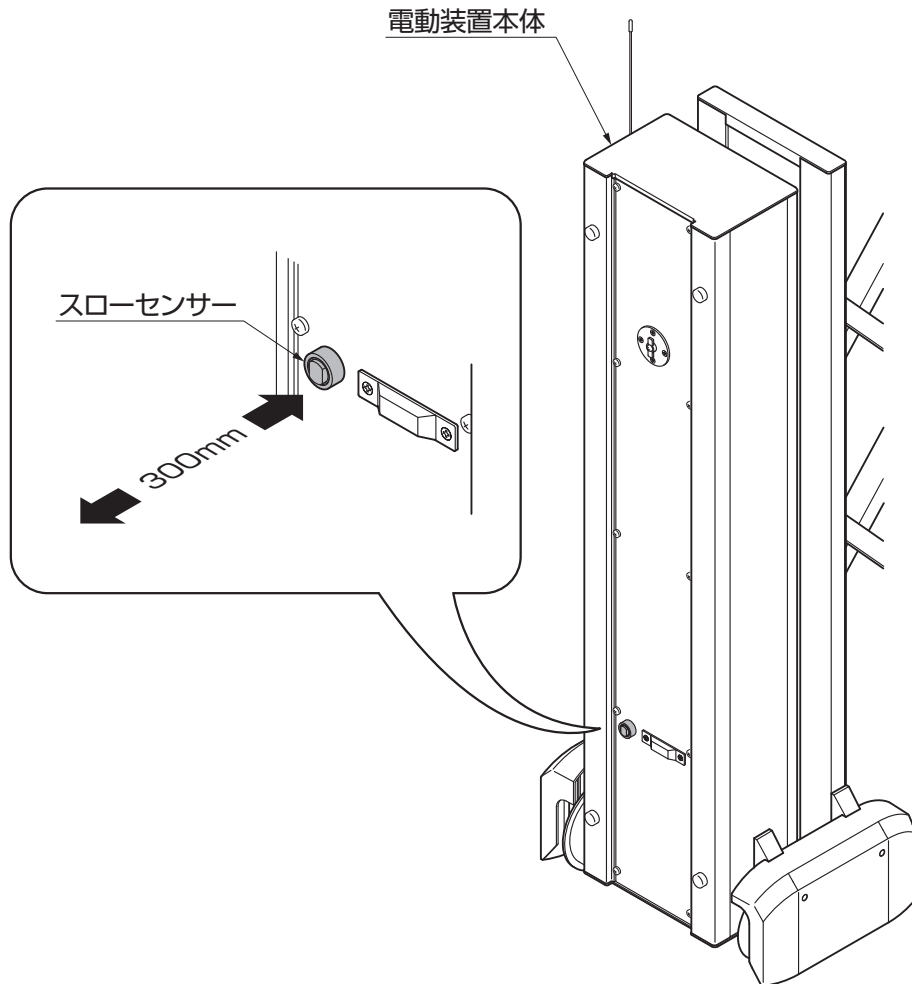
●インバーターおよびコントローラーには絶対ふれないでください。 設定が変わり、 動作に支障をきたす場合があります。 また、 感電する危険があります。
●電源スイッチは必ず「ON」の状態のままにしておいてください。 電源を「OFF」にするときは、 配電ボックスのブレーカーを「OFF」にしてください。（「5-6 電動で動かせない場合の操作方法」を参照してください。）

4-2 ロックユニットについて

補 足

●電動装置の下部にあるギアとロックユニットがかみあわさることにより全開時および全閉時にしっかりと扉全体がロックされるようになっています。

お願い

●全閉・全開時に手動(停電, 故障時)で開閉する場合、ロックユニットで固定されているため、大きな力が必要になります。ロックユニットにゴミや砂, 土などがたまると扉がしっかり固定されない場合があります。ゴミや砂・土などがたまらないように定期的に取除いてください。

4-3 スローセンサーについて

①約300mmの距離に障害物を検出すると速度が遅くなり、 2秒後に扉は停止します。
a.戸当り柱にも反応しますが、 ちょうど全閉の状態で停止する設定になっています。

お願い

- ●スローセンサーが反応し、 扉が停止した場合は障害物を取除き、 「閉」または「開」ボタンスイッチを押して扉を動かしてください。
- ●雨や雪または泥水などがスローセンサーの表面に付着したとき、 障害物と判断して扉が停止する場合があります。 柔らかい布で雪や汚れを拭き取り、 再度操作ボタンを押して操作をしてください。
- ●戸当り柱から電動装置の距離が1m以内のとき､電動で閉めると加速中にスローセンサーが戸当り柱を検出して全閉しない場合がありますので、 再度閉ボタンを押して全閉状態にしてください。
- ●降雪時、 雪を感知する場合があります。 停止した場合は、 再度押ボタンまたはリモコン送信器で操作をしてください。

5　使用方法

5 - 1　リモコン送信器での操作方法

警 告

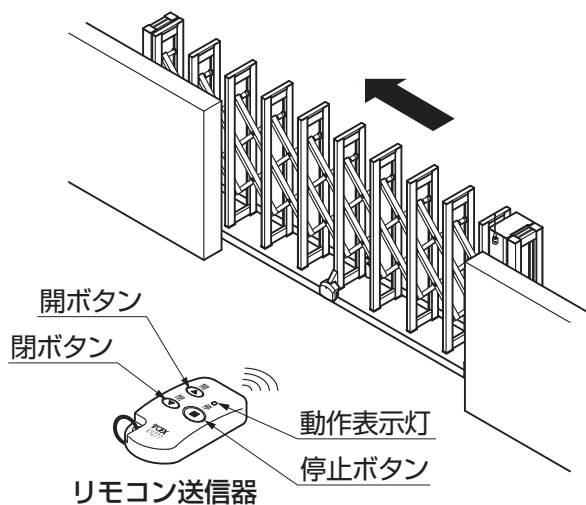
●お子様には操作させないでください。ケガをしたり、重大な事故につばがるおそれがあります。

お願い

●「開」または「閉」ボタンを押す間隔が２秒を超えると送信しませんので注意してください。
●リモコン送信器の実用到達距離約１０m以内で操作してください。
●「開」「閉」動作中、その逆方向へ操作する場合は、必ず「停止」ボタンを押してから次のボタンを操作してください。安全上「停止」ボタンに限り１回押すだけで送信するようになっています。

補 足

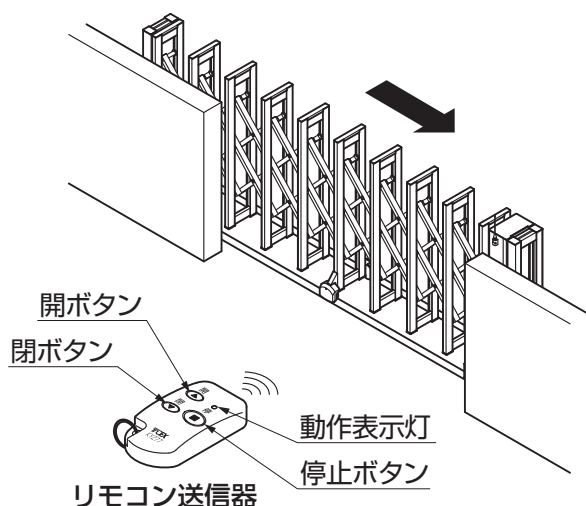
●リモコン送信器の実用到達距離約１０m以内で操作してください。
●開閉動作中、その逆方向へ操作する場合、必ず「停止」ボタンを押してから、次のボタンを操作してください。

（1）扉を開けるとき

①「開」ボタンを１回押して、２秒以内にもう１回押します。

②動作表示灯が「点滅」して送信され、扉は自動的に開きます。

補 足

●動作途中で一時停止するときは「停止」ボタンを押します。

（2）扉を閉めるとき

①「閉」ボタンを１回押して、２秒以内にもう１回押します。

②動作表示灯が「点滅」して送信され、扉は自動的に閉まります。

補 足

●動作途中で一時停止するときは「停止」ボタンを押します。

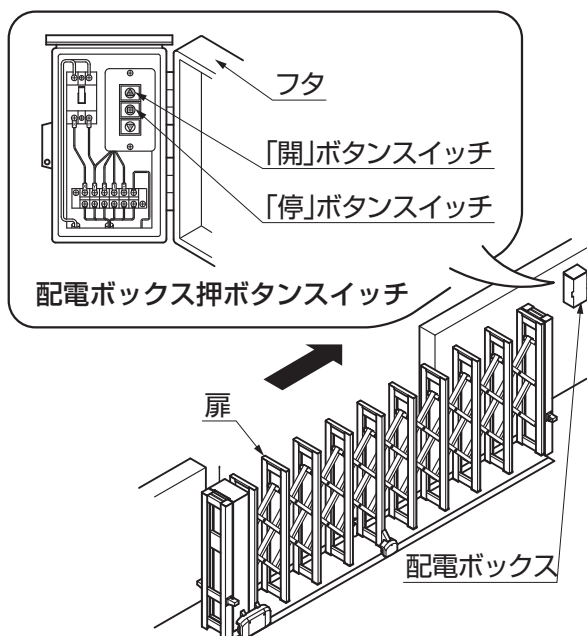
5-2 配電ボックス内押ボタンスイッチでの操作方法

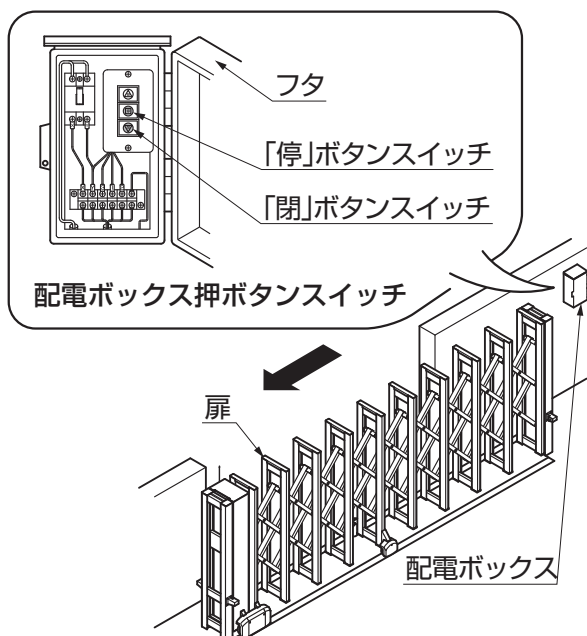
警告

●お子様には操作させないでください。ケガをしたり、重大な事故につばがるおそれがあります。

お願い

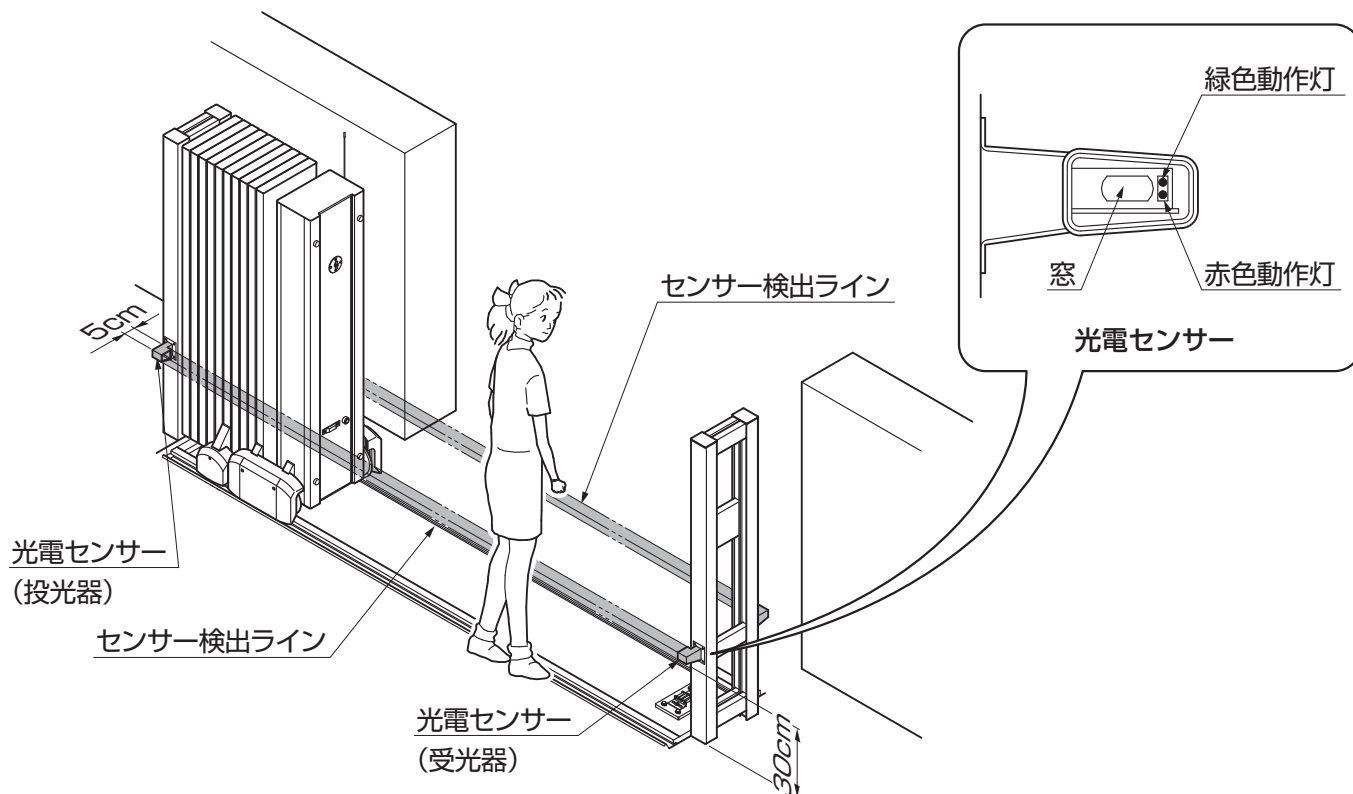
●配電ボックス内に付いている押ボタンスイッチを押して扉を操作してください。
●「開」「閉」動作中、その逆方向へ操作する場合は、必ず「停止」ボタンを押してから次のボタンを操作してください。安全上「停止」ボタンに限り１回押すだけで送信するようになっています。
●イタズラや誤操作による損害を防ぐために、操作時以外はフタを閉めて鍵をかけてください。

（1）扉を開けるとき

①開ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に開きます。
a.途中で停止するときは、「停」ボタンスイッチを押します。

（2）扉を閉めるとき

①閉ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に閉まります。
a.途中で停止するときは、「停」ボタンスイッチを押します。

5-3 光電センサーについて

⚠注意

●この光電センサーは、安全のためのセンサーです。伸縮門扉の開閉動作中に人や車などがはさまれるのを未然に防ぎます。
●光電センサーは戸当り柱および吊元柱、それぞれの柱の両側に取付きます。
●開閉操作中にセンサー検出ライン上に障害物を検出すると、その場で停止します。

(1) 光電センサー検出範囲

●光電センサーには検出エリアに制限があります。地面から約30cmの高さで、柱から柱の外側に幅約5cmのラインが検出ラインになります。
●検出可能な物体は、人や車など直径約10cm以上の不透明体に限ります。

(2) センサー検出したとき

●伸縮門扉の開閉動作中にセンサー検出ラインに人や車など障害物が入ると光電センサーの赤色動作灯が点灯し、瞬時に伸縮門扉は停止します。

お願い

●障害物がある間(赤色動作灯が点灯)は、リモコン送信器および各押ボタンスイッチの操作ボタンを押しても伸縮門扉は動作しません。障害物を取除いてから操作をしてください。
●雨や雪または泥水などがセンサー本体に付着したとき、光電センサーが障害物と判断し(赤色動作灯が点灯)伸縮門扉が停止する場合があります。柔らかい布で雪や汚れを拭き取り、再度操作ボタンを押して操作をしてください。
●降雪・降雨時に、まれに光電センサーが障害物と判断し(赤色動作灯が点灯)伸縮門扉が停止する場合がありますが故障ではありません。再度、リモコン送信器および各押ボタンスイッチのボタンを押して操作をしてください。

5 - 4 外部押ボタンスイッチ（オプション）での操作方法

⚠ 警 告

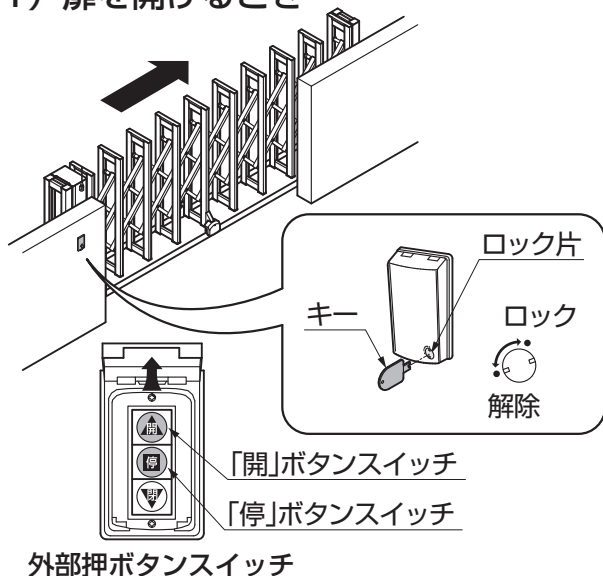
●お子様には操作させないでください。 ケガをしたり、 重大な事故につばがるおそれがあります。

お 願 い

●「開」「閉」動作中、 その逆方向へ操作する場合は、 必ず「停止」ボタンを押してから次のボタンを操作してください。 安全上「停止」ボタンに限り１回押すだけで送信するようになっています。
●イタズラや誤操作による損害を防ぐために、 操作時以外はカバーをロックしてください。

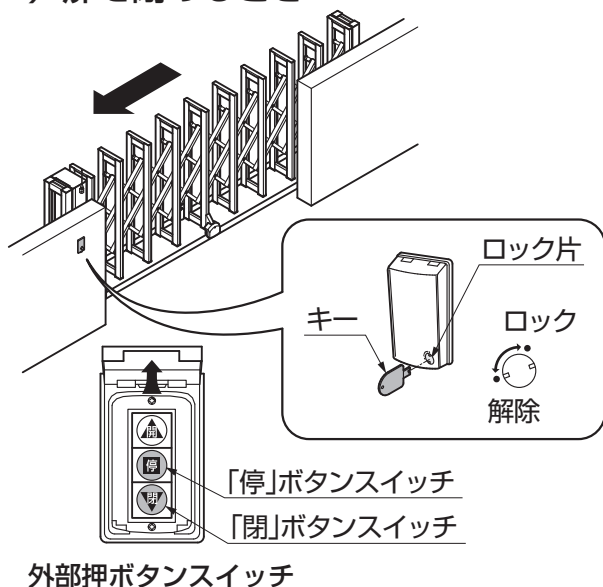
補 足

●別売り品で外部押ボタンスイッチをお求め頂いたお客様は、 リモコン送信器とは別に扉の開閉操作ができます。

（1）扉を開けるとき

①付属のキーをロック片に差込み、 左に回してカバーを開けます。

②「開」ボタンスイッチを押すと、 扉は自動的に開きます。
a.途中で停止するときは、「停」ボタンスイッチを押します。

③カバーを閉じ、 付属のキーをロック片に差込み、 右に回してカバーをロックします。

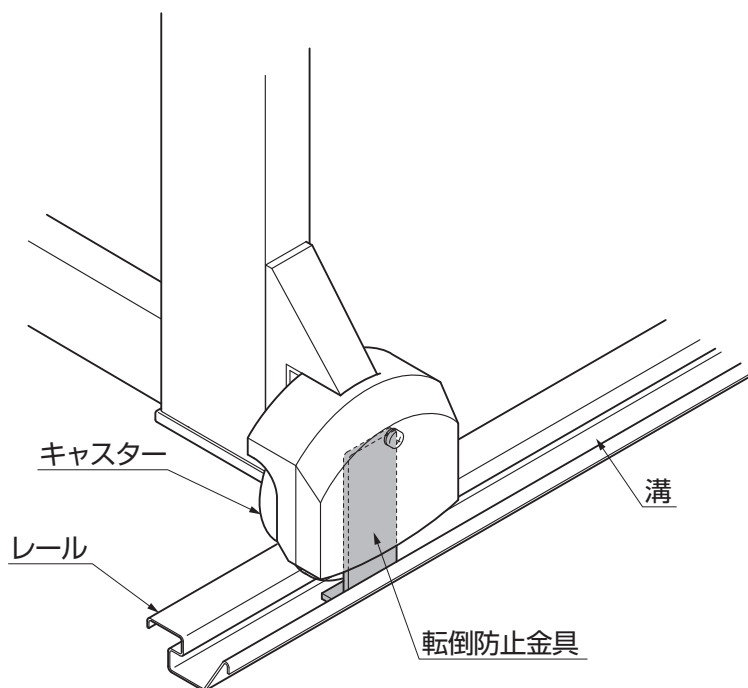
（2）扉を閉めるとき

①付属のキーをロック片に差込み、 左に回してカバーを開けます。

②「閉」ボタンスイッチを押すと、 扉は自動的に閉まります。
a.途中で停止するときは、「停」ボタンスイッチを押します。

③カバーを閉じ、 付属のキーをロック片に差込み、 右に回してカバーをロックします。

5-5 転倒防止金具について

補 足

●強風時等、 扉が転倒しないようにすべてのキャスターに転倒を防止する金具が取付いています。

お 願 い

●レールの溝にゴミや砂， 土などがたまると転倒防止金具にひっかかり扉が動かなくなる場合があります。 レールの溝にゴミや砂， 土がたまらないように定期的に取除いてください。

5-6 停電時の手動操作方法

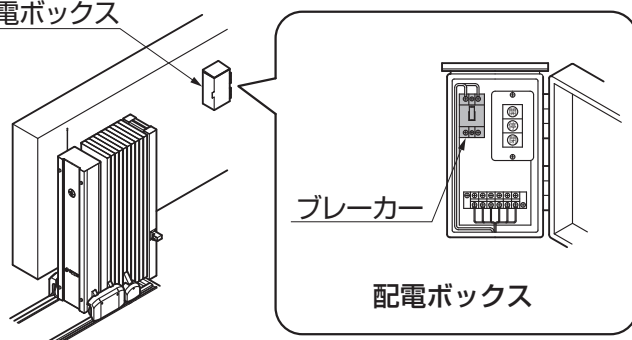
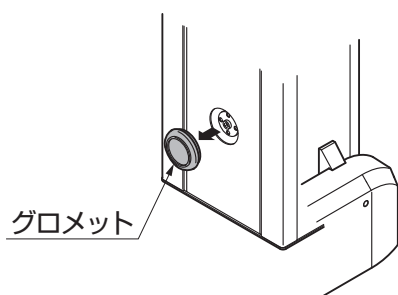
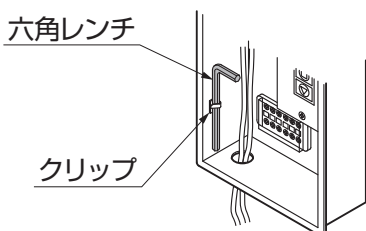
（1）手動切替えクラッチの操作（電動から手動への切替え）

※停止しているときは、電動装置本体内部ブレーキが働いています。
電動から手動への切替え操作をすることで、このブレーキが解除され、手動で開閉操作ができます。
※非常時(停電，故障)など電動で動かせない場合は、手動で動かすことができます。

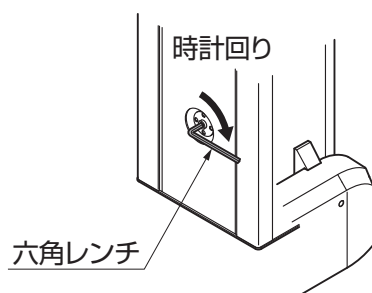
注 意

●配電ボックス内の配線にはふれないでください。感電する危険があります。

お願い

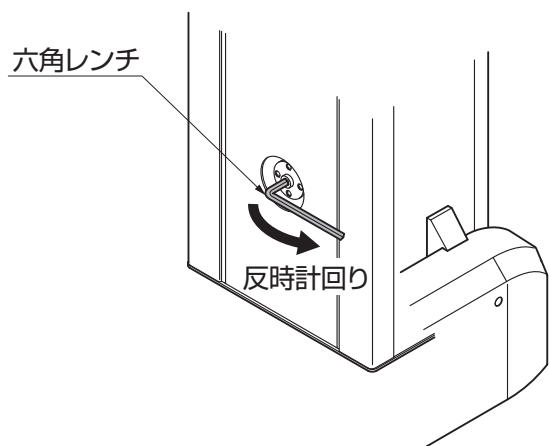
●手動での開閉は非常時(停電，故障)の場合に限り行なってください。通常は電動操作でご使用ください。
●手動切換え後、非常時(停電，故障)が回復(電動で使用できる状態)したときは、配電ボックス内のブレーカーを「ON」にすることを忘れないでください。

①配電ボックスのカバーを開け、ブレーカーを「OFF」にします。

②電動装置本体裏の下側にあるゴム製のグロメットを取外します。

③配電ボックス内にクリップで仮固定してある六角レンチを取出します。

④電動装置本体のゴム製グロメットを取外したところにある六角穴に六角レンチを差込ます。

⑤六角レンチを押込みながら時計まわりに回します。

補 足

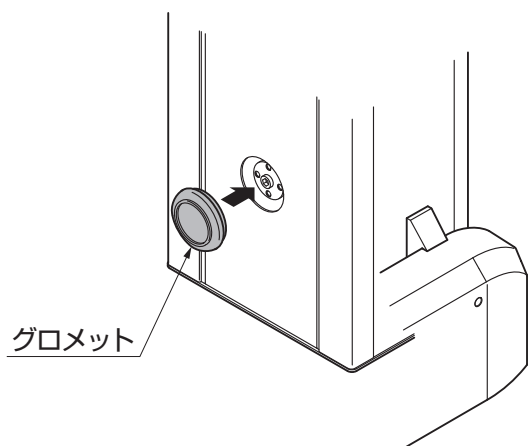
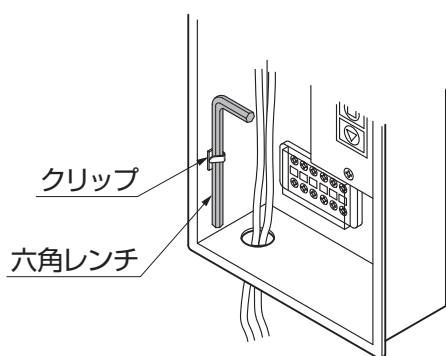
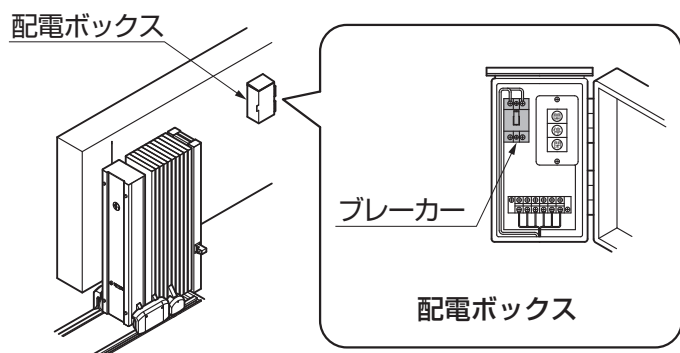
●クラッチが外れて車輪がフリーで回転する状態になります。
●手動状態で動かすときは、ゆっくり・確実に操作してください。無理に操作したりねじった操作をすると故障の原因になります。

（2）手動切替えクラッチの操作（手動から電動への切替え）

※停電が解消され、電動運転ができるようになりましたら速やかに電動への切替えを行なってください。
また、手動操作で開閉し、ご使用になった後にも必ず電動へ切替えて電動装置本体の車輪にブレーキがかかった状態にしてください。

①電動装置本体のゴム製グロメットを取外したところにある六角穴に六角レンチを差込みます。

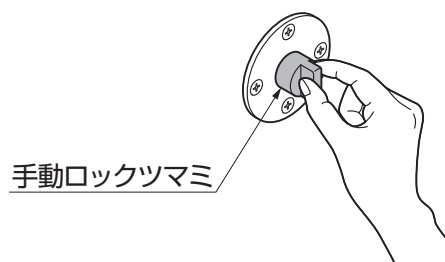
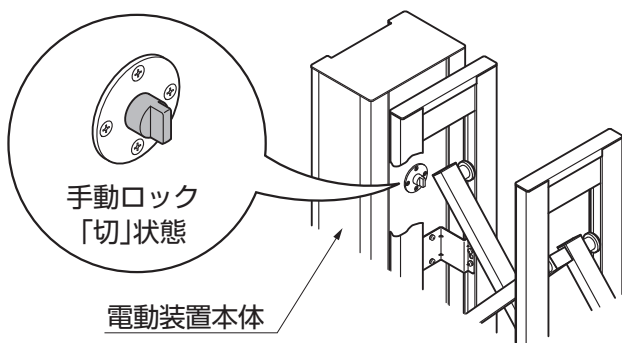
②六角レンチを押込みながら反時計まわりに回します。

補足

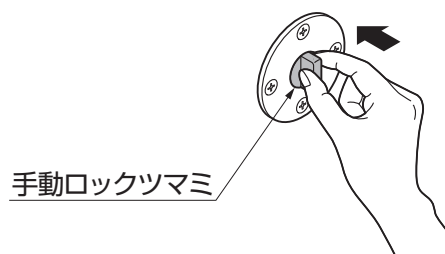
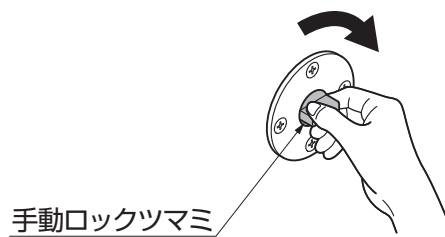
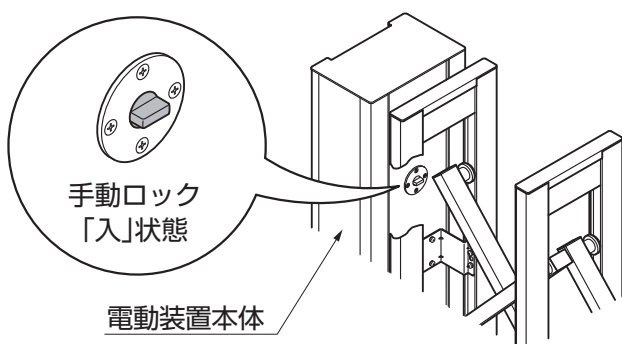
- クラッチが入り、車輪がモーター軸とつながります。
- 電動装置本体を少し前後に動かすと「カチン」と音がしてクラッチが入ります。

③ゴム製グロメットを電動装置本体に取付けます。

④六角レンチを配電ボックス内のクリップで押さえて収納します。

⑤配電ボックスのカバーを開け、ブレーカーを「ON」にします。

5-7 強風時の手動ロックの操作方法

補 足

●電動装置本体の背面に全閉時に戸当り柱と一体化することにより保持力を出す手動ロックの操作ツマミがあります。 強風時は勝手に伸縮門扉本体が開かないように手動ロックを入れてください。
●手動ロックの解除方法は、 下の手順の逆の手順で解除できます。

①ロックのツマミを持ちます。

②ツマミを押込みます

手動ロックツマミ

③押込みながら時計回りにねじ込むとロックが入ります。

6　調整および交換方法

6 - 1　リモコン電池の交換

補足

●リモコンの到達距離が短くなったり、動作表示灯が点灯しなくなるなどの兆候があった場合は、すみやかに新しい「リチウム電池CR2032」とお取り替えください。
●電池寿命は、1日10回(1秒／回)使用にて約5年です。

図6-1

①送信器裏側のネジ(2ヶ所)を施意味雨ドライバー(＋)で外し、裏側ケースを取外します。(図6-1参照)

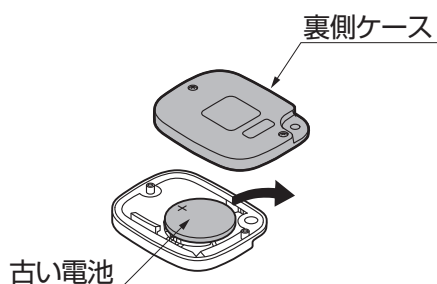



図6-2

②古い電池を取出します。(図6-2参照)

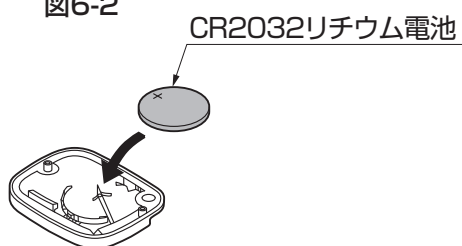



図6-3

③新しい電池は「＋マーク」が見える向き(上側)にはめ込みます。(図6-3参照)
④ネジ(2ヶ所)を締めて裏側ケースを取付けます。(図6-1参照)

お願い

●電池の極性を確認の上、セットしてください。
位置マークで確認してください。

6 - 2　調整について

お願い

●各部の調整を希望される場合には、施工店または、東洋エクステリア「お客様相談室」にご相談ください。

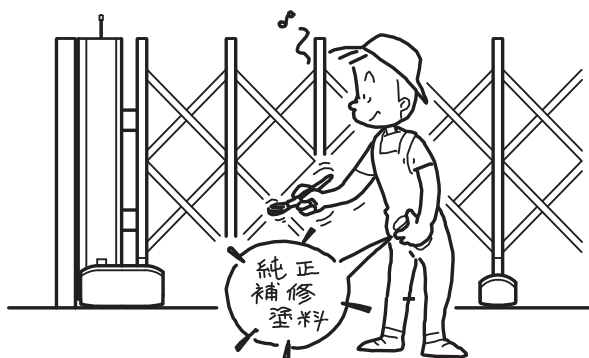
7　お手入れについて

（1）汚れの取り方

①年に2～3回は水洗いをして拭きとってください。
a.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。
b.電動装置には電装部品が内蔵されていますので、直接水道ホースなどで水洗いをしないでください。ぞうきんなどで汚れを軽く拭きとってください。

お願い

●シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。材料が変形・変色したり、塗料がはげることがあります。

（2）キズの補修

お願い

●あやまってキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

8　修理を依頼する前に

●故障かなと思ったときは、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときは、修理をご依頼ください。

このようなとき	点　　検	処　　置
電動で作動しない	家側のブレーカーが「OFF」になっていませんか	ブレーカーを「ON」にする
	配電ボックス内のブレーカーが「OFF」になっていませんか	ブレーカーを「ON」にする（「5-6　停電時の手動操作方法」参照）
	電動装置内の電源スイッチが「OFF」になっていませんか	電源スイッチを「ON」にする（「4-1　コントロール部について」参照）
	光電センサーが障害物を検出していませんか	障害物を取り除く（「5-3　光電センサーについて」参照）
	光電センサーの表面が汚れたり、雪が付着したりしていませんか	軟らかい布で汚れや雪をきれいに拭きとる（「5-3　光電センサーについて」参照）
	転倒防止金具がレールにひっかかっていませんか	レールの溝を掃除する（「5-5　転倒防止金具について」参照）
	レール上に障害物などがありませんか	障害物を取除く
リモコン送信器の押ボタンスイッチを押しても動かない	リモコン送信器の操作方法がまちがっていませんか	２秒以内に２回押す（「5-1　リモコン送信器での操作方法」参照）
	リモコン送信器の電池が消耗していませんか（動作表示灯が点灯していますか）	新しい電池に交換（「6-1　リモコン電池の交換」参照）
	リモコン送信器の押ボタンスイッチを0.3秒以上押していますか	必ず0.3秒以上押す（「5-1　リモコン送信器での操作方法」参照）
	２台以上のリモコン送信器から同時に発信していませんか。	同時に発信しない
	各種無線器、 コードレス電話などを同時使用していませんか	同時使用は避ける
	操作位置がアンテナから遠すぎませんか	10m以内で操作（「5-1　リモコン送信器での操作方法」参照）
	リモコン送信器が受信器に登録されていますか	リモコン送信器を登録（「3 リモコン送信器の追加登録方法」参照）
「閉」時に電動で動作するがすぐ停止してしまう	スローセンサーが障害物を検出していませんか	障害物を取除く（「4-3　スローセンサーについて」参照）
	戸当り柱から1m以内の距離で動作させていませんか	「閉」ボタンを再度押して動作させる（「4-3　スローセンサーについて」参照）
	スローセンサーの表面が汚れたり、雪が付着したりしていませんか。	柔らかい布で汚れや雪をきれいに拭きとる（「4-3　スローセンサーについて」参照）

9 修理と保証

(1) 保証書について

●保証書は必ず施工店名、 施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
●保証書記載内容を確認のうえ、 大切に保管してください。

(2) 保証期間

お願い

●保証期間内でも有料になることがありますので、 保証書をよくお読みください。

	施工完了日（お引渡し日）▼	1年▼	2年▼
電装部品	無料	有料	
電装部品以外	無料		有料

(3) 修理について

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、 お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
●修理に関するお問い合わせは、 お買い上げの販売店(工事店)または、 「お客様相談センター」にお問い合わせください。
●修理を依頼されるときは、 下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年　月　日	電話番号	
施工店名		その他	

●消耗品は寿命があり、 有償修理となります。

10 仕様

電源	AC100V　50/60Hz
消費電力（動作時）	約60W
モーター定格出力	60W
周囲温度	−10℃～50℃(凍結は除く)
開閉速度	35cm/秒
リモコン到達距離	見通し距離　約10m(使用環境で短かくなることがあります。)
操作方法	配電ボックス内押ボタンスイッチ， リモコン送信器

補足

●リモコン到達距離は、 周囲の環境や電波障害などにより短くなることがあります。

TOEX

グランシャイン Cタイプ電動装置 保証書

製造No.（商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本体	2ヶ年
	但し木材部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　　様	
	電話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名 　印
	電話　（　）

株式会社 LIXIL

〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

1. **保証者**
   株式会社LIXIL
2. **保証の対象者**
   当該商品の所有者
3. **対象商品**
   TOEXブランドで販売しているエクステリア商品
4. **保証内容**
   取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
5. **保証期間**
   当該商品の施工完了日（お引き渡し日）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品についてはご購入された日から起算して1年間。
6. **免責事項**
   保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
   ①取付説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された施工・取り付け方法から逸脱したことに起因する不具合（例えば、腐食促進のおそれがある海砂・急結材等を使用したモルタルによる腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下など）。
   ②取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
   ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
   ④建築躯体や、外構工事、土間工事、電気工事などの商品以外に起因する不具合。
   ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、ひび割れ、節抜け、ささくれ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
   ⑥自然現象や住環境に起因する結露、樹液の染み出しなどに起因する不具合（例えば、結露による凍結、かび、さび発生、樹液によるコンクリート壁面などの汚れなど）。
   ⑦環境が特に悪い地域又は場所に取付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどの付着によって起きる腐食や塗装剥離、異常な高温・低温・多湿による不具合など）。
   ⑧天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
   ⑨実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
   ⑩犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、又はつるや根などの植物の害による不具合。
   ⑪使用者や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取外し含む）に起因する不具合。
   ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
   ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お客様相談室にお問い合せください。

お客様相談センター

・商品のご購入・使い方などのご相談
・有償での修理と部品のご購入

0120-126-001　Fax03-3638-8447

受付時間‥‥月～金 9:00～18:00（祝祭日、年末年始、夏期休暇等は除く）

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行う場合がありますのでご了承ください。

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『プライバシーポリシー』（http://www.lixil.co.jp/privacy/）をご覧下さい。

取説コード
UD105

JZZ620574A
201002A_1007
201108B_1007